

2008年2月5日 電話会議

「おいしさ」と「新鮮」をネットワークする。 

# 2008年3月期第3四半期業績概況資料

(2871)

**株式会社ニチレイ**

【お問合せ先】

広報IR部 田中 久

: 03-3248-2235

E-mail: [tanakah@nichirei.co.jp](mailto:tanakah@nichirei.co.jp)

URL: <http://www.nichirei.co.jp/ir/index.html>

# 通期予想達成に向けて第3四半期は増収・増益に

「おいしさ」と「新鮮」をネットワークする。 

## 2008年3月期第3四半期連結業績と通期業績見込

単位:金額 = 億円 (未満切捨て)	3Q		1~3Q		4Q		通期		
		前年比		前年比	(E)	前年比	(E)	前回(E)比	前年比
<b>売上高</b>	1,251	+22	3,562	+31	1,037	-7	4,600	-	+23
<b>営業利益</b>	67	+2	147	-1	20	-12	168	-	-13
<b>経常利益</b>	68	+6	145	+3	14	-17	160	-	-13
<b>当期純利益</b>	43	+4	90	-9	7	-1	98	-	-10

### 1. 売上高

注:(E)は今回発表した見込、10月30日に発表した見込を修正していない

第3四半期(10~12月)は2%の増収、畜産と海外が好調な低温物流が前年比増収に、加工食品は家庭用の前年割れが続くが業務用の回復が著しく前年比微増となる。水産は取扱いの絞込みもあり前年を下回る。

通期予想は変更せず前年比23億円の増収に。

### 2. 営業利益

第3四半期は前年比2億円の増益、物流ネットワークの採算改善と海外の取扱い拡大で低温物流が3億円増益に、水産もエビの採算が改善し営業黒字となる。加工食品も原材料高を吸収し前年並みを確保した。

通期予想は変更せずに前年比13億円の減益に。

### 3. 経常利益・当期純利益

営業外収支が前年比4億円改善、特別損益は差引きでほぼ前年並みに。

# 水産は第3四半期黒字に、加工食品は前年並みに復調

「おいしさ」と「新鮮」をネットワークする。 

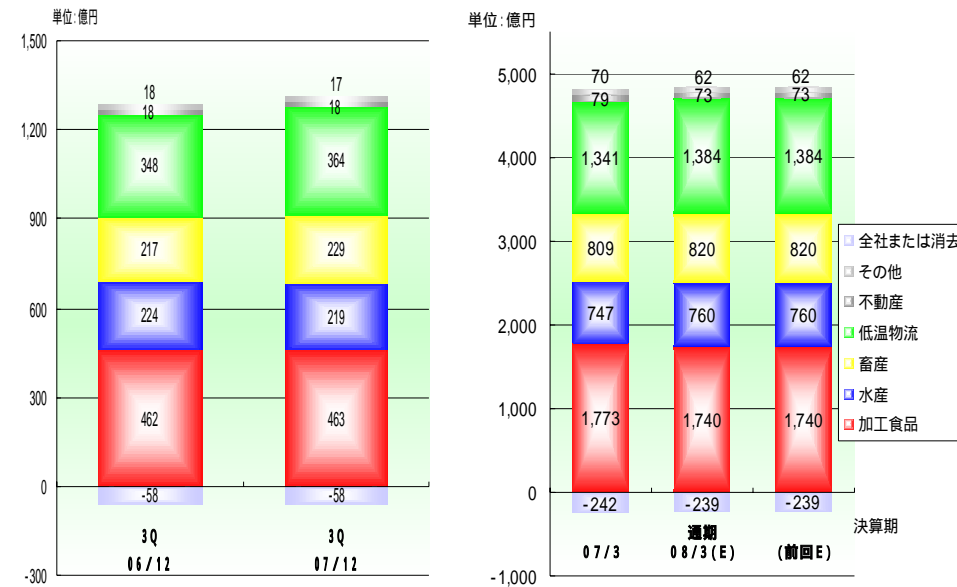
## セグメント別売上高と営業利益(その1)

### 1.加工食品

売上は前年を上回る。チキンの拡大や導入時に遅れがでた新商品のコロッケの回復で業務用調理品が5%増収、家庭用は2%減収と前年割れが続いているが減収率は縮小方向にある。採算面は原材料価格上昇が圧迫要因だが、業務用の好調に加え、数量減などの値上げによる悪影響があまり無く12月には価格改定効果が現れ始めたことから、営業利益は前年並みを確保した。

通期は、業務用の好調が継続することと価格改定効果が今後本格的に発生すること、原材料価格の上昇が想定範囲に収まる見込みから、売上・利益とも目標を達成できる見込み。

セグメント別売上高の実績と見込



(以下、グラフの金額単位表示未満は四捨五入し一部で端数調整のため切り上げ・切り捨てを行っている)

### 2.水産

売上は前年比3%の減収となるが、上期に業績悪化の主因となったエビの採算性が下期に入り大幅に改善、第3四半期は3億円の営業黒字となる。第3四半期累計でも営業損失はゼロまで改善。

通期ではエビが回復基調にあることから売上、営業利益とも前回予想を十分達成できる見通し。

### 3.畜産

売上は国産チキンの伸長により前年比5%の増収となるが、営業利益は牛肉が仕入コスト上昇で利益率が低下したことで前年並みに留まった。通期では売上・営業利益とも前回予想を据え置く。

# 低温物流は海外の好調が持続

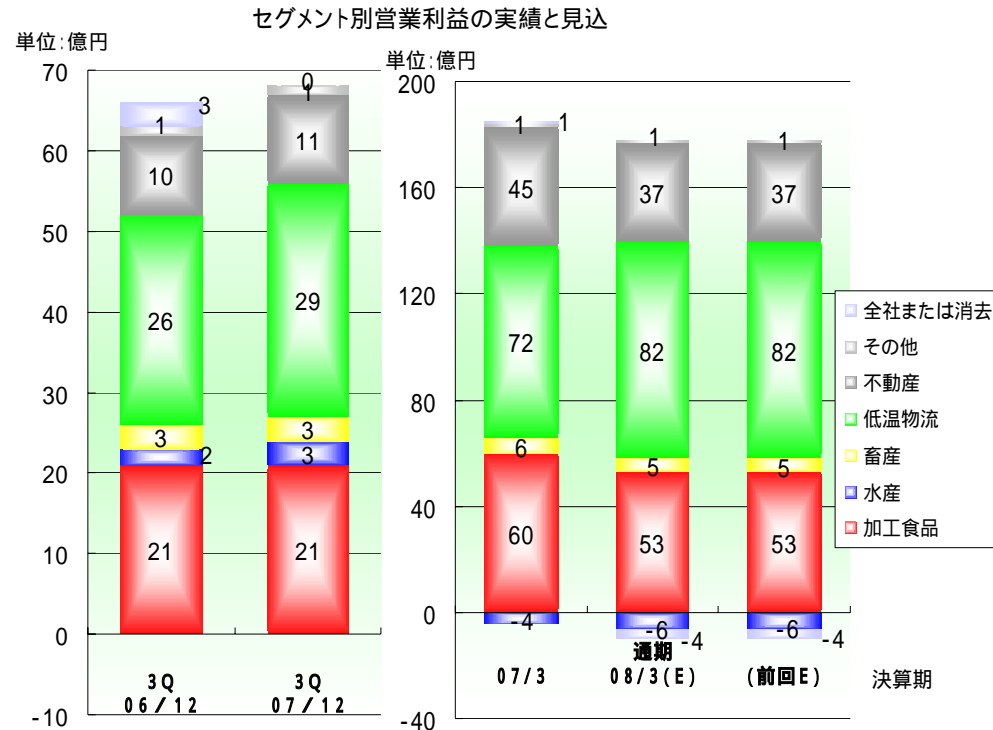
「おいしさ」と「新鮮」をネットワークする。 **ニチレイ**

## セグメント別売上高と営業利益(その2)

### 4.低温物流

海外は欧州で港湾冷蔵庫や、果汁保管、フォーディングの各業務が好調を継続、物流ネットワークも上期を上回る増収率を達成した。一方在庫量の低下で業界環境が悪化している地域保管でも、在庫水準で前年並みを維持し、影響を最小限に食い止め、総合の売上高は前年比5%の増収に、営業利益も海外と物流ネットワークの貢献で、前年比3億円の増益を達成。設備投資計画は改正建築基準法の関係で半年程度の遅れ。

通期は、海外など強含みの要素もあるが、売上・営業利益とも前回予想を据え置く。



### 5.不動産

第3四半期は、焼津市所在の土地分譲のほかは賃貸事業による収益のみで売上高・営業利益ともほぼ前年並み。

通期は、売上・営業利益とも前回予想を据え置く。

### 6.その他

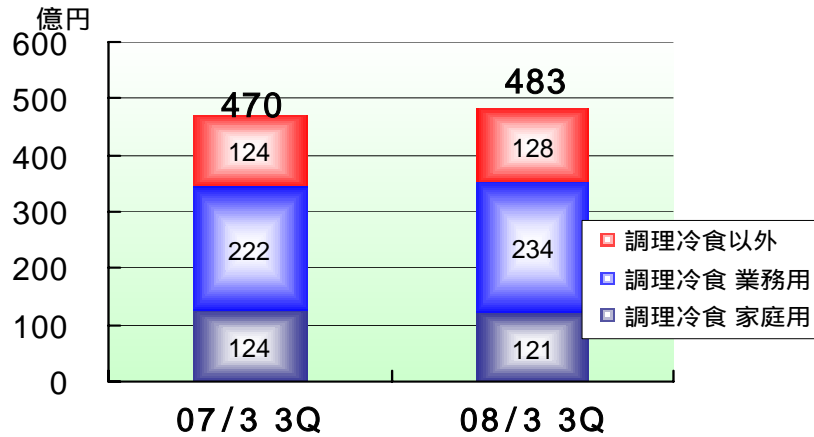
売上高は前年比4%の減収。営業利益は1億円の増益で組織染色製品が順調に伸びたバイオサイエンスが貢献。

# 第3四半期の調理冷凍食品は業務用が牽引

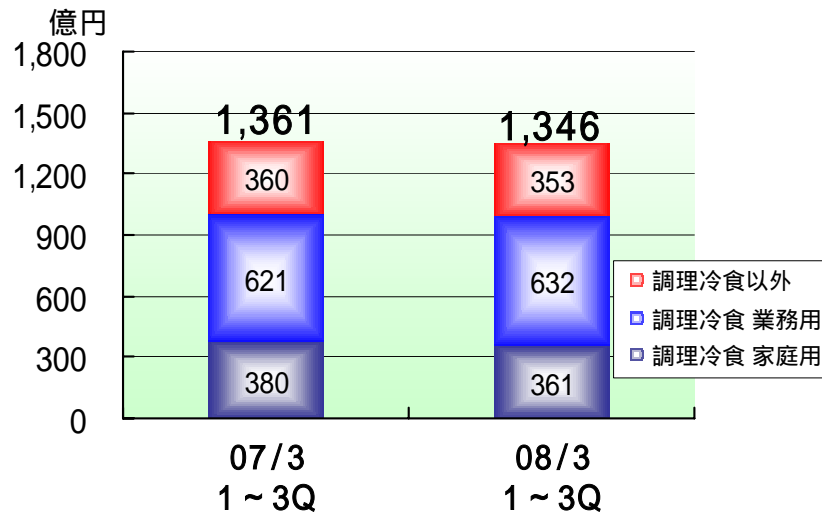
「おいしさ」と「新鮮」をネットワークする。 **Nニチレイ**

## 第3四半期冷凍食品売上高

冷凍食品売上高の推移



冷凍食品売上高の推移



### 1. 冷凍食品全般

第3四半期(10~12月)は前年比3%の増収、4~12月累計では1%減収。家庭用・業務用を合わせた調理冷食全体ではチキン加工品が大幅な増収となった。

えび天等の水産調理品、調理野菜が前年を下回った。

### 2. 調理冷食

家庭用: 第3四半期は2%減収。引き続き苦戦が続くが、からあげチキンやパリパリの春巻き等の主力商品の伸長や秋の新商品グラタンが好調なことに加えて12月は価格改定に伴う増収効果もあり、上期と比べ前年比減収率は縮小へ。

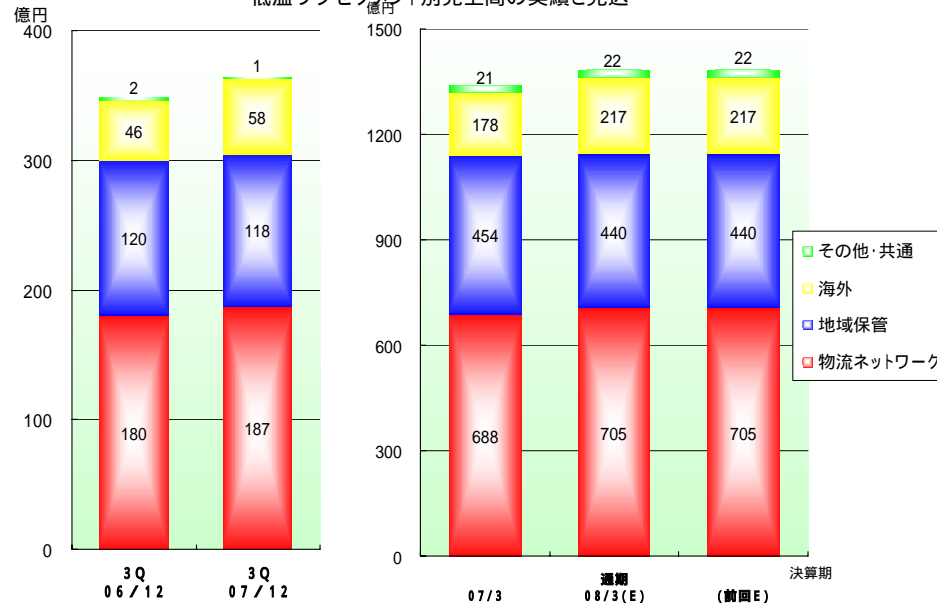
業務用: 第3四半期は5%の増収。12月には価格改定効果も加わる。カテゴリー別ではフライドチキンなどのチキン加工品が大きく寄与した。コロッケ類については計画未達ながら上期の新商品導入時の遅れを取り戻しつつある。

# 海外事業が好調、厳しい環境の地域保管も前年並みを確保

「おいしさ」と「新鮮」をネットワークする。 **Nニチレイ**

## 低温物流事業のサブセグメント別対前期比増減要因と通期見込

低温サブセグメント別売上高の実績と見込



### 1. 物流ネットワーク

既存事業所の採算改善が引き続き進み、増益となった。運送の共同化提案の進捗遅れはあるものの、年末需要の取り込みで売上拡大を図り4%の増収。今後収益改善と並行し新規顧客拡大に努める。

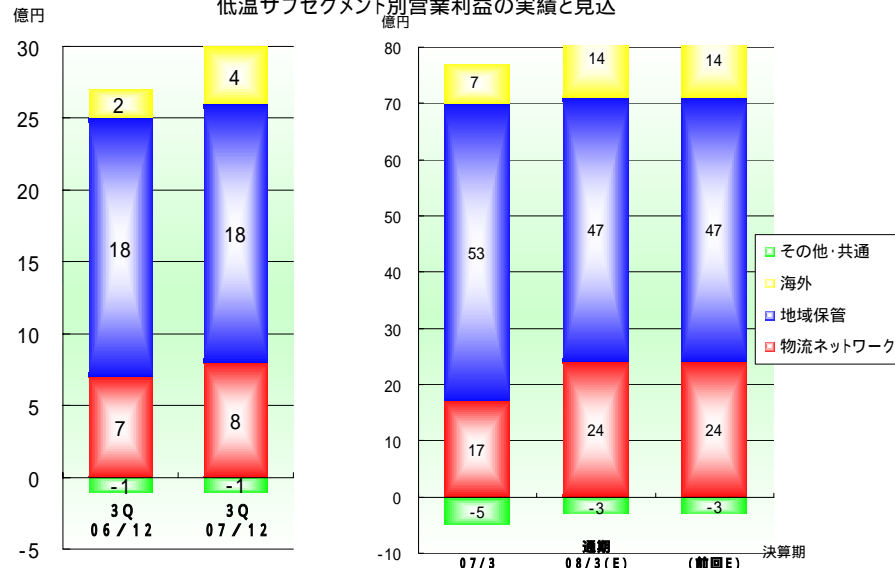
### 2. 地域保管

在庫量の減少が顕著な業界環境の中で、当社は地域営業力を活かした集荷に努め、年末商材の確保も順調に進んだことから、前年並みの在庫率を維持した。設備能力が昨年より低下したことで2%の減収だが営業利益は前年並みを確保。

### 3. 海外

港湾冷蔵庫や果汁保管、フォーディングの3分野すべてが順調に拡大、前年比26%と大幅な増収、2億円の増益となった。通期も引き続き好調さを持続できる見通し。

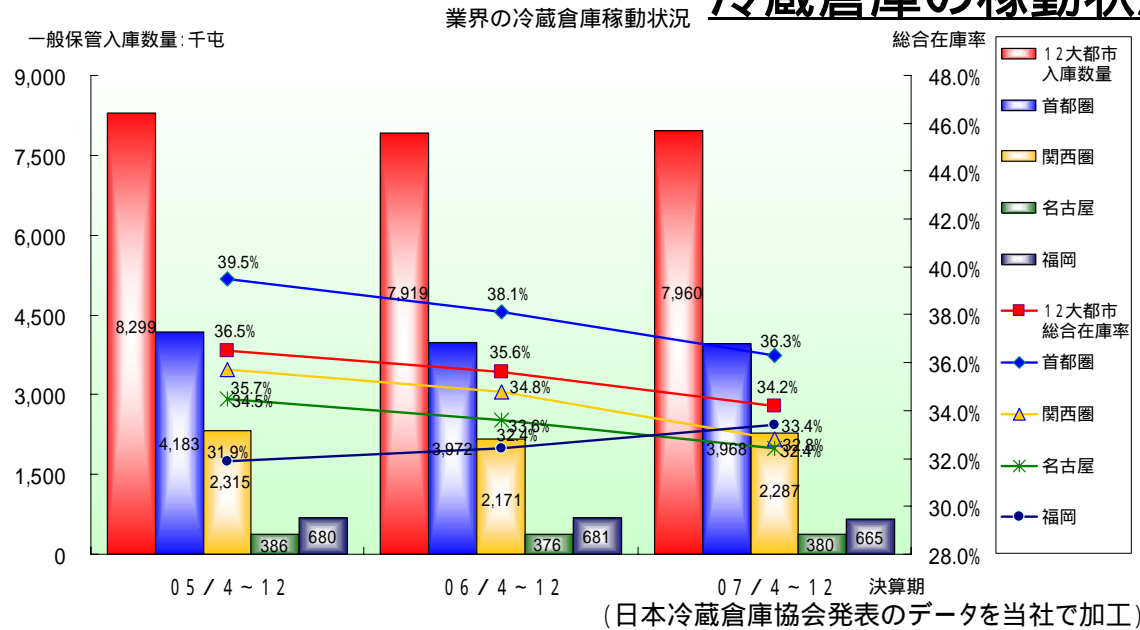
低温サブセグメント別営業利益の実績と見込



# 業界の在庫率は下落傾向続く

「おいしさ」と「新鮮」をネットワークする。 **ニチレイ**

## 冷蔵倉庫の稼働状況

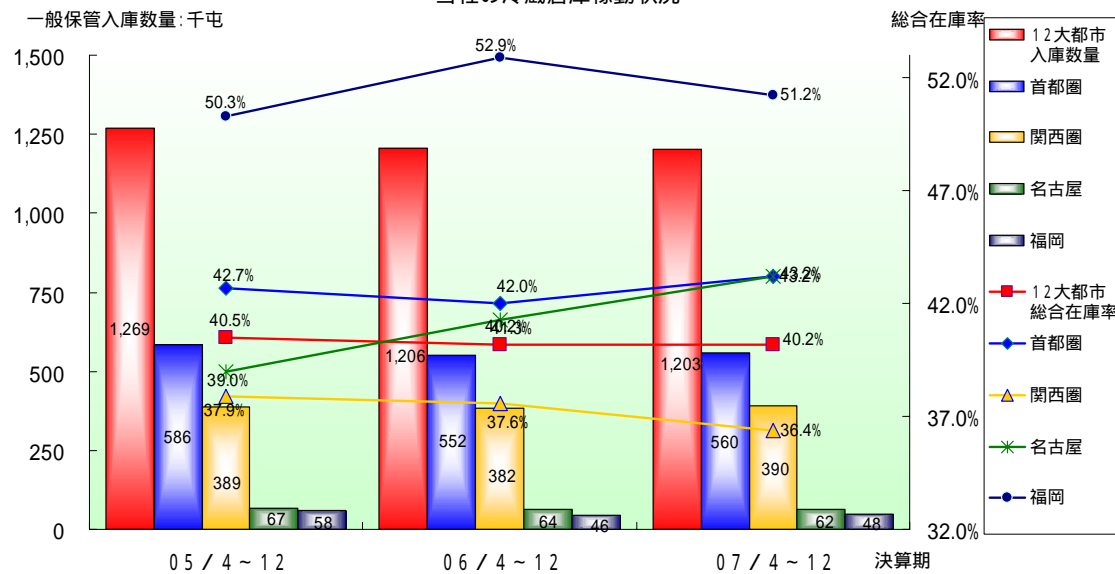


### 1. 業界の状況

畜産物の減少が引き続き影響した結果、入庫量は前年を維持したものの、在庫率は前年の水準を割り込んだ。

### 2. ニチレイグループの状況

畜産物減少後の後荷の確保に努めた結果、入庫量、在庫率とも前年を維持した。





# 通期の特別損益はプラスに

「おいしさ」と「新鮮」をネットワークする。 

単位:億円、単位未満切り捨て プラス表示は利益を示す	第3四半期(10~12月)				通期		
	07/12	06/12	増減		08/3E	07/3	増減
<b>【営業外収支】</b> (主要項目)	+ 1	- 3	+ 4	<b>【営業外収支】</b> (主要項目)	- 8	- 7	- 0
金融収支	- 1	- 1	- 0	金融収支	- 8	- 7	- 1
持分法投資損益	+ 1	- 0	+ 1	持分法投資損益	+ 3	+ 5	- 2
<b>【特別損益】</b> (主要項目)	+ 2	+ 3	- 0	<b>【特別損益】</b>	+ 5	+ 18	- 13
投資有価証券売却益	+ 3	+ 0	+ 3				
過年度固定資産税還付金	-	+ 5	- 5				
減損損失	-	- 1	+ 1				

アールワイフードサービスが前中間期末で持分法適用関連会社ではなくなっているため  
冷蔵倉庫の過年度固定資産税過払い分の還付によるもの。

第4四半期に発生が見込まれる主なものは固定資産売却益・固定資産売却損・除却損。前期比大幅な減少となる要因は関係会社株式売却益29億円が無くなることと減損損失が無くなることによる。



# データ集

「おいしさ」と「新鮮」をネットワークする。 

## セグメント別売上高・営業利益の実績・見込・前回見込・前年実績

単位：億円(単位未満四捨五入、一部で端数調整あり)

	第3四半期 (10～12月)		第3四半期累計 (4～12月)		第4四半期 (1～3月)		通期	
	07 / 12	06 / 12	07 / 12	06 / 12	08 / 3	07 / 3	08 / 3 (E)	07 / 3
<b>(売上高)</b>								
加工食品	463	462	1,348	1,375	392	398	1,740	1,773
水産	219	224	601	598	159	149	760	747
畜産	229	217	632	617	188	192	820	809
低温物流	364	348	1,053	1,020	331	321	1,384	1,341
不動産	18	18	57	53	16	26	73	79
その他	17	18	46	53	16	17	62	70
全社または消去	-58	-58	-174	-185	-65	-57	-239	-242
合計	1,252	1,229	3,563	3,531	1,037	1,046	4,600	4,577
<b>(営業利益)</b>								
加工食品	21	21	36	53	17	7	53	60
水産	3	2	0	0	-6	-4	-6	-4
畜産	3	3	6	6	-1	0	5	6
低温物流	29	26	72	61	10	11	82	72
不動産	11	10	33	28	4	17	37	45
その他	1	1	1	1	0	0	1	1
全社または消去	0	3	0	0	-4	1	-4	1
合計	68	66	148	149	20	32	168	181

注：08 / 3 (E) は今回発表した見込で、10月30日に発表した見込を修正していない。

# 当資料取扱い上のご注意

「おいしさ」と「新鮮」をネットワークする。 

当資料に記されたニチレイの現在の計画・見通し・戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」その他これらの類義語を用いたものに限定されるものではありません。これらの情報は、現在において入手可能な情報から得られたニチレイの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。このため、これらの業績見通しのみ全面的に依拠して投資判断されることは、お控えいただくようお願いいたします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常にニチレイが将来の見通しを見直すとは限りません。実際の業績に影響を与え得るリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます：

- 食品に関する衛生問題等
- 商品や原材料の価格変動
- 商品回収リスク
- 固定資産の保有リスク
- 保有有価証券の時価変動リスク
- 為替変動リスク

など

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。当資料は、あくまでニチレイをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。